

写真文化首都「写真の町」東川町の国際交流



多様な国際交流事業

東川町では、国内初となる公立日本語学校の開設や、高校生国際交流写真フェスティバルの開催など、多様でユニークな国際交流の取り組みを行っています。

また、住民との交流や教育、福祉など国際交流以外の様々な取り組みとの有機的連結を図り、地域の課題解決につなげています

写真を通じた交流

世界中の高校生が集う「高校生国際交流写真フェスティバル」など写真を通じた交流（2019年度は21の国・地域が参加）

日本語教育事業

全国唯一の公立日本語学校のほか、民間専門学校による日本語学科により常時300名程度の留学生が滞在

JETプログラム活用

JETプログラムによる外国人青年を招致（15か国より19名）
・英語指導助手 5名
・スポーツ国際交流員 3名
・国際交流員 11名

姉妹都市交流

海外4都市との交流【姉妹都市】
カナダ：キャンモア町
ラトビア：ルーイエナ町
ロシア：アニワ市
【文化交流協定】
韓国：ヨンウォル郡

外国人介護人材育成事業

他地域と連携し、留学生を招致し、東川町内の専門学校にて、全国的に不足する介護福祉士を養成

東川から発信する「ヒト・モノ・コト」の相互連鎖から広がるまちづくり

様々な取り組みにより生まれる多様な交流により地方創生の好循環が発現しているほか、交流は文化や言語を超えた相互理解を促し、多文化共生社会の形成につながっています。



交流人口・
関係人口の増加

知名度の向上

地域内消費の拡大

人材の育成・供給

国際交流による地域課題の解決＝新しい国際交流のカタチ

